産学官によるスポーツDXで熊谷を日本一アツいスマートシティへ

~AI技術で誰もがデータ分析にチャレンジできる街に~

進め、明日のその先へ KUMAGAYA

SPORTS



スポまち!表彰2025 埼玉県熊谷市

<目標>

計画期間:~令和 10年 9月 30日

- 1. 誰もがアクセスできる、スポーツデータ分析環境の提供/データ分析人材の育成
- 2. データに基づいた地域スポーツ強化/指導現場のDX
- 3. スポーツ施設DXによる施設価値・住民満足度の向上
- 4. 熊谷スポーツコミッションとの連携による地域内外へのPR・合宿誘致
 - ★AIカメラ利用者数 50件以上(R8.9末) ★配信ページ閲覧回数 500回以上(R8.9末)

<PRポイント>

- ・誰もが自分たちのスポーツ映像データを簡単に記録・分析できる環境を提供
- …熊谷市スポーツ・文化村「くまぴあ」に自動で試合や練習の映像を記録できるAIカメラを導入
- 産学官五者での共同研究を開始
- …施策のモデルケースとして市内チームの戦術強化と、地域の学生を中心としたデータ分析人材の育成に関する調査を実施

<現状・課題>

- ・ラグビーワールドカップ2019™の開催地となるなど「スポーツ熱中都市宣言」を掲げ、スポーツ(ラグビー)によるまちづくりを実践している。スポーツ施設を軸に市民の積極的なスポーツ参加の推進施策が求められている。
- ・「デジタルと人の力で、社会を前に進めていく」まちづくりを方針とするスマートシティ施策を掲げ、重点的に取り組む分野の1つとしてスポーツ・健康分野を掲げているが、市民を巻き込む持続的な具体施策を必要としていた。

<総合的な取組内容>

熊谷市スポーツ・文化村「くまぴあ」にスポーツ自動 撮影AIカメラを導入



誰もが自分たちのスポーツ 映像データを簡単に 記録・分析できる環境を提供

産学官五者連携での研究 をスタート



市内社会人サッカーチームの 試合映像を地域の大学生アナリ ストがデータ分析しフィードバック →戦術強化に活用

市内のデータ分析人材を育成・スポーツで熊谷スマートシティを推進 資源を活用した交流人口の増加



①他競技・チームの利用拡大→「スポーツ×デジタル」で新たなサービスの提供 ②データ分析人材の教育育成→地域コミュニティ、キャリア形成へも発展 ③PR・合宿誘致に接続

→大規模大会、合宿誘致数の拡大。新規団体へのアプローチが可能。

【フォローアップ欄】令和7年度以降における計画の進捗状況

<継続的な取組を確保できる体制(図)>

産学官によるスポーツ地域DXを 通じた地域価値の向上

熊谷スマートシティ推進へ貢献 立正大学

NTTSportict

スポーツDXによる地域 スポーツ競技力向上 データを扱える人材育成、 知的財産の地域への還元

業
 熊谷市
 熊谷スポーツコミッション

DXによる熊谷スマートシティを推進 資源を活用した交流人口の増加

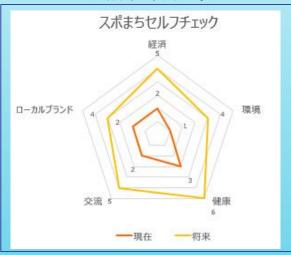
NTT東日本

持続性のある 地域づくりに貢献

各競技団体 (熊谷市サッカー協会他)

市内スポーツ現場に おけるスポーツDXの普及

<セルフチェックシート>



問合せ先・電話番号

熊谷市総合政策部スポーツタウン推進課 電話:048-524-1135 (直通)